

3. 懇談会での質疑応答

質問： 「まちづくり活動」で検討はしているが、なかなか進展が見られ無い難しい状況を市や地主会は、沖縄県選出の国会議員などに話をされているのか。

回答： 地主会では自民党議員とともに、県や防衛施設局に対し要請活動などを行っています。現在の返還予定区域での開発の難しさ（10項目の課題）などについて、今後も関係機関と調整を図っていきたくと考えています。そのためみなさんの声や力を借りる必要もありますので、よろしくお願いします。

質問： 小さい土地を2つ持っているが、区画整理の換地において合筆をしてもらえるのか。

回答： 単独で利用が難しい土地などについては、合筆（同じ場所に寄せる）をすることも可能です。

質問： 谷などの利用し難い土地は、区画整理ではどのようになるのか。

回答： 地形上利用が困難な場所については、緑地などといった公共施設用地とされる。また土地の所有権については、区画整理後の宅地部分に換地として確保することもできます。

質問： 将来の計画や土地の状況がパソコンで見られるVRは、個々に販売はしないのか。地権者の手にあれば、将来についての話し合いなど家族できると思うのだが。

回答： 現在使用しているVRシステムは、データ容量が大きいため配布は考えておりません。宜野湾市基地政策部基地跡地対策課及び宜野湾市軍用地等地主会事務所に常設していますVRシステムをぜひご活用ください。

宜野湾市より：

今回のアンケートの回収率が、50%を切っている状況にあります。皆様のご協力をお願いします。

市は、まちづくりのお手伝いやより良く利活用するための協力についてお力添えはできます。

しかし、実際に土地を利用されるのは、地権者の皆様です。SACO合意による返還地区は、北谷や読谷でも若干の遅れはあっても、着実に返還が実施されています。

まちづくりが成功するよう、ご家族でもいろいろお話し合いをして、まちづくりへの協力をお願いします。

4. 懇談会の閉会の挨拶として（地主会副会長より）

那覇新都心の跡地利用は、実際の工事の施工は短期間で終わっているが、それに至るまでには、返還後から長い期間をかけて検討されています。このキャンプ瑞慶覧地区は、返還前の早い段階からいつ返還されても良い様に、これまで地権者の皆様と勉強会を実施しています。

現在のまちづくり計画は、高い理想において計画しています。これを実現していくためにも地権者の理解・協力が必要です。しかし、地権者の活動として行なっているアンケート回答率が低く、地主の声としては弱いものがあります。良いまちづくりを進めるためには、家族でも話し合ってもらい必要があります。

皆様が良い面も悪い面も考えて取り組んでいくことにより、よいまちづくりが出来ると考えます。また来年度も引き続き、地権者皆様のご協力を是非お願いします。

ニュース等に関する
お問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 新垣、我那覇
TEL 098-893-4401(直通) FAX 098-892-7022

キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課

2007年3月 Vol.15

TEL 098-893-4401(直通)

《本号の概要》

平成18年度 アンケート（意向）調査結果報告。

キャンプ瑞慶覧返還予定地区は、返還後の速やかな跡地利用の実現に向けて、地権者の皆様が主体となって取り組んでいます。

本年度も、全地権者の方を対象に「地権者アンケート（意向）調査」を実施いたしました。

そこで、「アンケート結果の報告と今後のまちづくり活動について」を目的として、平成18年度 第3回 まちづくり懇談会を平成19年3月5日（月）に開催いたしました。（対象者600名中 参加者49名：参加率約8.2%）

このまちづくりニュースは、第3回懇談会の内容を掲載しております。

1. 平成18年度意向調査結果について
2. 今後のまちづくり実現に向けて
3. 懇談会での質疑応答
4. 懇談会の閉会の挨拶として（地主会副会長より）について掲載しています。

【平成18年度 第3回まちづくり懇談会の様子です。】

（全体風景）



（市基地政策部部長あいさつ）



（議題について説明）



（地権者からの質疑）



（事務局からの回答）



（地主会副会長より）



1. 平成18年度意向調査結果について

今年度のまちづくり活動において検討された内容を中心に、アンケート調査を実施し、その結果を報告しました。

項目	内容
調査対象	返還予定区域の全地権者（共有所有の場合それぞれの方に送付）
調査内容	今年度のまちづくり検討内容、将来の土地利用等および自由意見
調査期間	平成19年2月8日～平成19年3月5日（市到着時点）
配布方法	2月8日開催第2回まちづくり懇談会時に配布 出席者：手渡し 欠席者：郵送（懇談会資料同封）
配布数	600名
回答数	274名
回答率	45.7%
その他	まちづくり相談会を3日間開催し、アンケート記入方法など説明

アンケートの各設問の結果については、同封の資料を参照ください。

今年度のアンケートの結果から、以下の点を踏まえ、まちづくり実現に向けて今後も検討を進めていくことが見いだされました。

まちづくりのルール
の必要性
大規模街区の再検討
情報の発信

このアンケートの記入方法や、普段からお持ちのまちづくりに関する疑問などについて、意見交換をする場として、「まちづくり相談会」を開催しました。

【まちづくり相談会の開催】

- 2月13日（火） 新城公民館 午後7時～午後9時
- 2月14日（水） 喜友名公民館 午後7時～午後9時
- 2月15日（木） 普天間三区公民館 午後7時～午後9時

相談会へ来られた方 3日間計 14組



まちづくり相談会風景

まちづくり相談会においての主なご質問と説明

- ・ 自分の土地の場所の確認
- ・ 返還後の計画的まちづくりの必要性
- ・ 区画整理事業の仕組み（効果と負担）
- ・ 今年度の検討内容
- ・ 意向調査票について（記入後回収もその場で行いました。）

2. 今後のまちづくり実現に向けて

（1）まちづくり実現に向けた取組み

アンケート結果から見いだされた事を踏まえ、今後のまちづくり実現に向けた取組みの方針を以下のとおりとしました。

予定されている返還時期がいよいよ間近になってきており、本地区のまちづくり実現には国・県の協力が不可欠であります。このため、関係機関と協議を行い、まちづくり実現に向けての具体的な方策の検討を推進していく必要があります。

特に本地区の10項目の課題について、依然明確な解決策がないことから、今年度代表者勉強会・まちづくり懇談会で勉強・検討してきました内容も踏まえ、関係機関との協議を進めていきます。

「土地区画整理事業」によるまちづくり実現のためには、現地の立ち入り調査（測量等）が欠かせません。よって、今年度認められなかった測量調査について引き続き早期に調査が認められるよう関係機関に要請を行っていきます。

（2）まちづくり活動への協力をお願い

今年度のまちづくり活動として行われた、「地権者懇談会（全3回）」「代表者勉強会（現在までに4回）」「アンケート（意向）調査」について出席率や回収率が年々下降気味であると言えます。地権者の皆様のまちづくり気運があがらないと、この地区の跡地利用実現は困難となります。



返還後に土地を利用し活用するのは、地権者のみなさん方です。

また、来年度はSACO合意において、キャンプ瑞慶覧地区の返還予定の時となっています。このことから、ますます重要な時期に突入したと言えます。

まちづくり活動に是非参加をお願いします。